取扱説明書

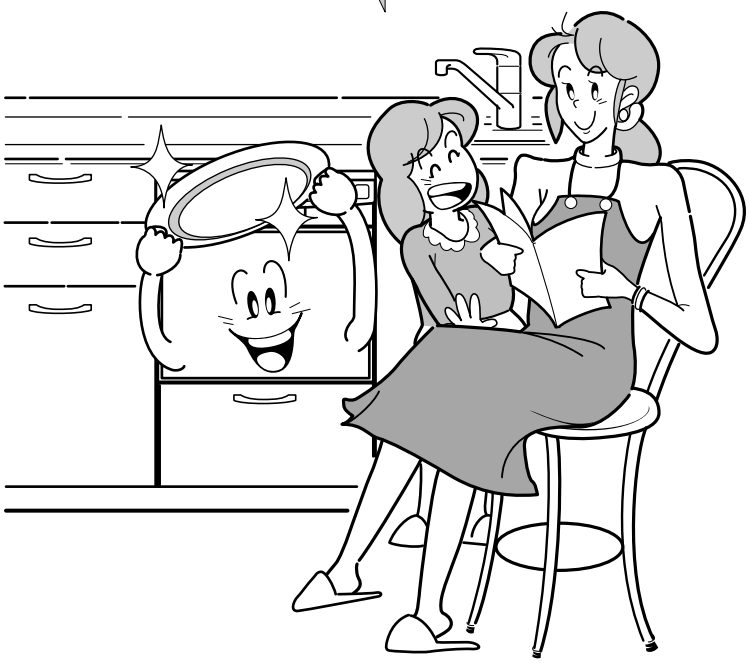
ビルトインタイプ

SANYO

食器洗い乾燥機 家庭用

品番 DW－SP45B

1. 幅45cmで6人用
   ワイドな引き出しタイプ
2. 残り時間が一目でわかる残時間表示
3. くつろぎタイムをじゃましない
   予約タイマー
4. 清潔なステンレスカゴ採用



このたびは食器洗い乾燥機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

保証書は必ず記入事項を確かめて、販売店からお受取りのうえ、この説明書とともに大切に保存してください。

上手に使って上手に節電

目　次

ご使用の前に

安全上のご注意…… 1～2
お願い…… 3
入れてはいけないもの…… 4
落ちない汚れ…… 4
各部のなまえ…… 5～6
付属品…… 6
操作パネル部のなまえとはたらき…… 7～8
コースの説明…… 9～10

使いかた

所要時間の目安…… 11～12
食器の入れかた…… 13～16
使いかた…… 17～18
コース別操作の手順…… 19～23
いろいろな運転のしかた…… 24

その他

仕上がりが悪いと思われる場合…… 25
お手入れ…… 26
凍結・断水・運転中に停電や
ブレーカーが落ちたとき…… 27
こんなときは故障ではありません…… 27
こんな表示がでたら…… 28～29
別売品…… 30
アフターサービスについて…… 30
仕様…… 裏表紙

安全上のご注意　必ずお守りください

- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分しています。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示の欄には、 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示の欄には、 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

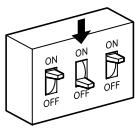
- 内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

異常がある場合は、ブレーカーを切る

感電や漏電ショートの恐れあり

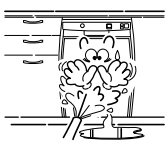
煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに専用回路のブレーカーを切ってください。
感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。
必ずお買い求めの販売店に、点検・修理を依頼してください。



本体への水や衝撃は禁物

水かけ禁止

水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電の恐れがあります。



禁止

運転中は本体に衝撃を与えないでください。感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。

ご自分で絶対に分解や修理はしない

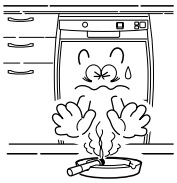
分解禁止

改造はしないでください。また、修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。
火災・感電・けがの原因となります。
修理は、お買い上げの販売店または当社指定のお客さま相談窓口にご相談ください。

火気や引火物を近付けない

火気禁止

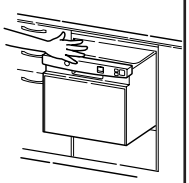
火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近付けないでください。
変形や火災の恐れがあります。



お手入れは運転終了後30分以降にする

30分経過後に

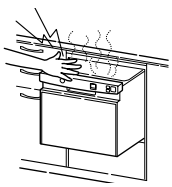
食器の取り出し、フィルターやヒーターカバーの掃除、お手入れは運転終了後30分以上経過してから行ってください。
やけどをする恐れがあります。



運転中または、終了後30分間はヒーターカバーに触れない

接触禁止

運転中または運転終了後30分間は絶対に庫内やヒーターやヒーターカバーに触れないでください。やけどをする恐れがあります。



※お読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

絵表示の例

△ 記号は、「注意（警告）事項」を示します。
（左図の場合は、「一般注意」を示す。）

⃠ 記号は、「禁止事項」を示します。
（左図の場合は、「分解禁止」を示す。）

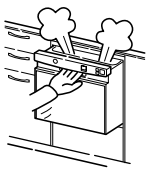
● 記号は、「強制事項」を示します。
（左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜く」を示す。）

⚠ 注意

高温水や湯気に注意する

禁 止

運転中はドアを開けないでください。高温の湯気が出て、やけどをすることがあります。洗浄水が高温になっており、手を触れるとやけどをします。



禁 止

排気口付近には近付かないでください。湯気、温風によりやけどをすることがあります。

お子様に注意する

禁 止

子供など取り扱いに不慣れな方には使わせないでください。
やけど・感電・けがをする恐れがあります。

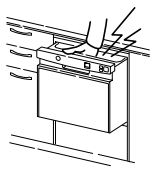
禁 止

お子様が中へ入らないように注意してください。また、使用後は必ずドアを閉めてください。中からドアは開きません。

ドアを閉めるとき、指のはさみ込みに注意する

禁 止

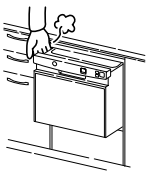
ドアを閉めるとき指のはさみ込みに注意してください。
けがの恐れがあります。



ドアを引き出した部分の側面に触れないで

接触禁止

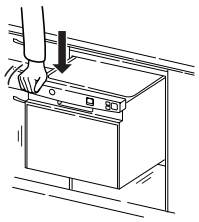
ドアを引き出した部分の側面に触れないでください。
やけどをする恐れがあります。



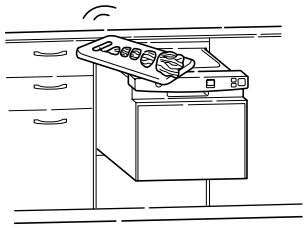
お願い

➡内の数字は説明のあるページです。

- 開いたドアに強い力をかけたり、ぶらさがったりしないでください。



- 調理台や、置き台として使用しないでください。（破損変形の原因になります）



- バケツや洗いおけなどで水を入れないでください。（水漏れの原因になります）

専用洗剤以外は使わないでください

- 一般の台所用洗剤を使用すると泡が異常に発生し、運転できません。
  ※専用洗剤は、お買い上げの販売店またはスーパーでお買い求めください。
  ➡3 別売品　参照

専用洗剤

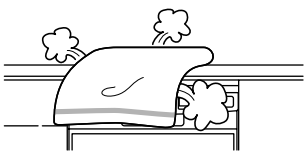
一般の台所用洗剤

他の湯（水）栓にも注意してください

- 給湯器を高温に設定し食器洗い乾燥機をご使用される場合、他の湯（水）栓からも高温のお湯が出ることがありますので、注意してください。

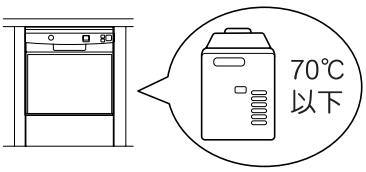
排気口はふさがないでください

- 乾燥が不十分になりますので、排気口はふさがないでください。



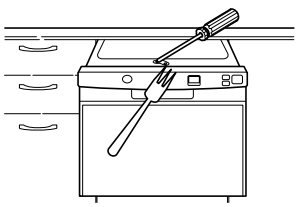
70℃より高温のお湯は使わないでください

- 70℃より高温のお湯が供給される湯（水）栓には接続しないでください。
  給湯は中型以上の深夜電力利用温水器、石油給湯器、10号以上の先止め式給湯器等で70℃以下の温度に調整可能な機器に接続してください。



ラッチ及び開閉レバーの穴に物を入れないでください

- ラッチ及び開閉レバーの穴には指や物を差し込まないでください。
  故障、事故の原因になります。

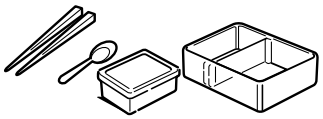


入れてはいけないもの

➡ 内の数字は説明のあるページです。

プラスチック容器などの軽くて小さい食器

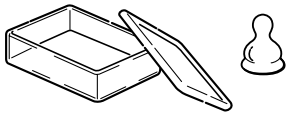
- 洗浄水で飛ばされ下に落ちる場合があります。
- ヒーターカバーの上に落ちた場合、ヒーターの熱で変色したり、焦げたような臭気がしたりするので注意してください。発煙や故障の原因となります。



耐熱90℃以下の樹脂製のもの（耐熱表示のないものも含む）・ほ乳瓶の乳首など小さくて袋状のもの

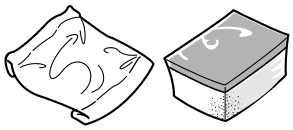
- 変形します。

※まな板に関しては 1 まな板の場合　参照



ふきん・スポンジなど

- 食器および調理器具以外は入れないでください。
  発火、発煙の恐れがあります。

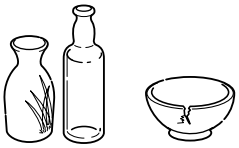


クリスタルグラス・カットグラス・強化ガラス

- クリスタルグラスは、表面が浸食され白くにごります。
- カットグラス、強化ガラスは水温変化で割れることがあります。
  ※乾燥のみでの使用は可能です。

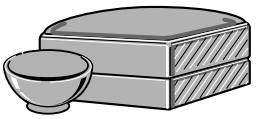
びん・徳利などの食器・ひびの入った食器

- 口の小さいものは、中が洗えません。
- ひびが入った食器は割れる恐れがあります。



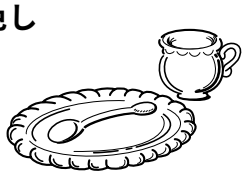
漆塗り食器・重箱・金箔入りの食器・木製の食器

- はがれる恐れがあります。



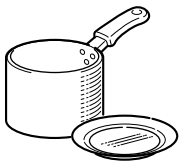
銀製・洋銀製食器など

- 金色にかわり、その後黒く変色します。



アルミ製の鍋や食器

- 白くなり、その後灰色に変色します。

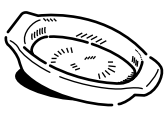


落ちない汚れ

- **手洗いでも落としにくい汚れは、そのまま入れてもきれいに洗えません。**
  こすり落としてから入れるか、手洗いしてください。一般の台所用洗剤で手洗いされた食器を入れるときは、洗剤が残らないように十分に洗い流してください。すすぎが不十分ですと、庫内で泡が異常に発生し、正常に運転できません。

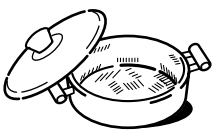
※異常表示が出る場合があります。2 こんな表示がでたら（U3表示）　参照

〈例〉



グラタンの
こげつき

茶わん蒸しなど
のがんこな汚れ



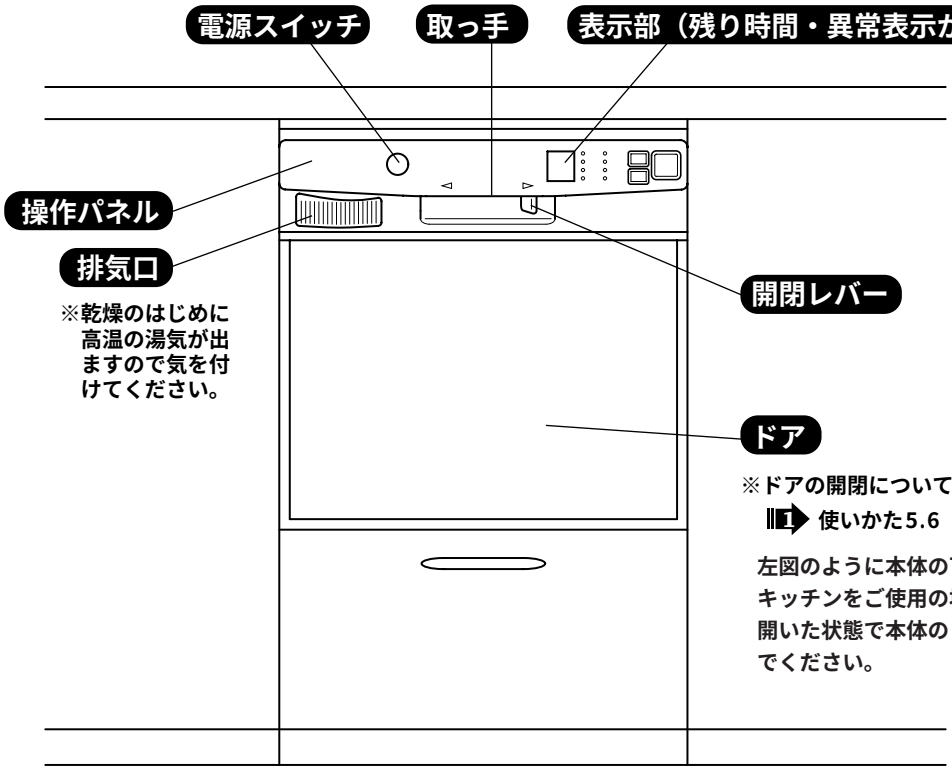
鍋の焼けこげ

口紅の汚れ

レモン汁をかけた
さしみの跡

各部のなまえ

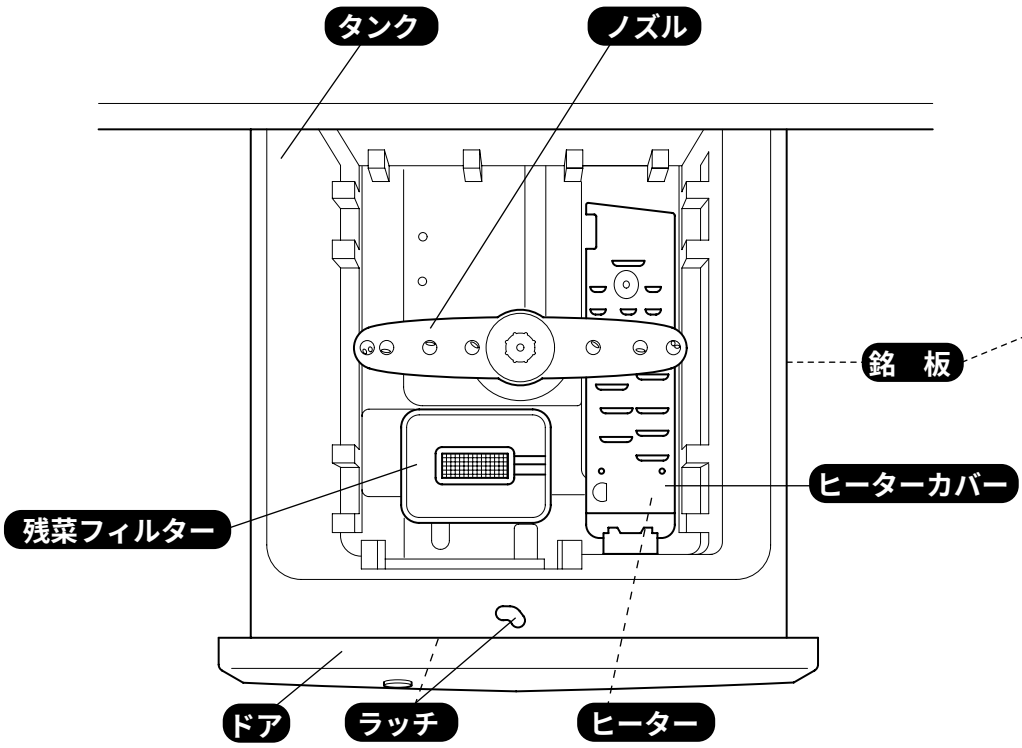
前　面



※ドアの開閉については
使いかた5.6　参照

左図のように本体の下に引き出しのあるキッチンをご使用の場合は、引き出しを開いた状態で本体のドアを引き出さないでください。

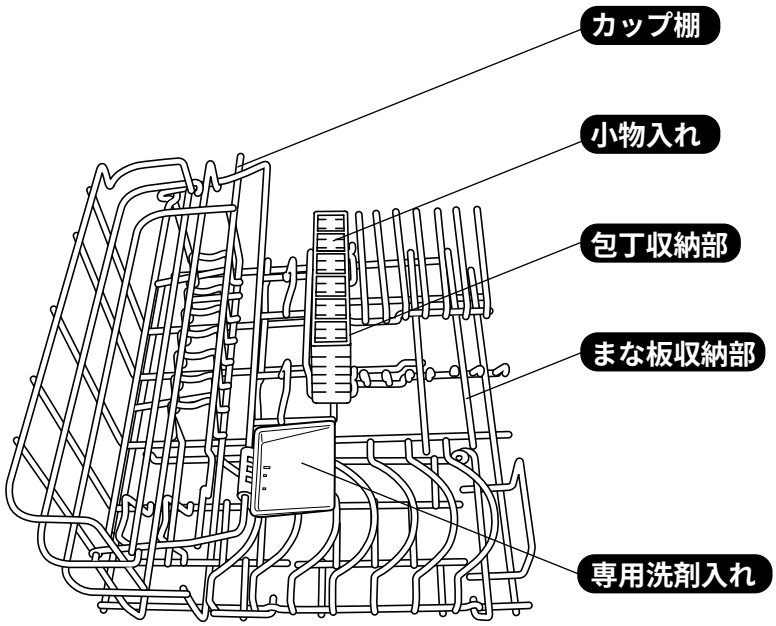
庫　内

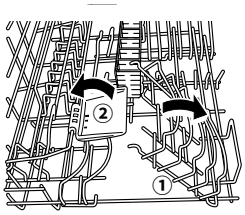


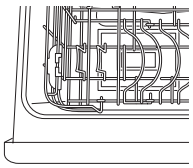
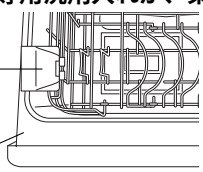
● 修理のときはタンク底面に貼付てある銘板に記載されている製造番号の確認が必要となることがあります。
依頼がありましたら確認して頂きご連絡ください。

カ　ゴ

※カゴを出し入れするときは、食器をすべて取り出し
カップ棚をおろした状態で出し入れしてください。

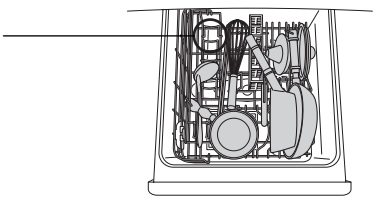




良い例 ○	悪い例 ✕
カップ棚を上げたときの状態 	カップ棚を上げたときタンクの上に専用洗剤入れが、乗った状態 

専用洗剤入れを使用できない時

この付近に専用洗剤を
入れてください。



①カゴの可動部について

残菜フィルターを取り出すため、カゴの一部が左図のように引き上げられるようになっています。

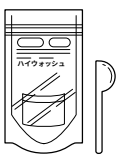
②専用洗剤入れについて

専用洗剤入れは、矢印の方向に回転します。
カップ棚は、専用洗剤入れを矢印の方向に回転させてから上げてください。

※専用洗剤入れが立っていたり、タンクの上に乗った状態で本体を押し込むと専用洗剤入れの破損及び水漏れの原因になります。

●洗剤を入れるときは、カップ棚をおろし、専用洗剤入れを矢印と逆の方向に回転させ、洗剤を入れてください。
●カップ棚の下に背の高いものなどをセットし専用洗剤入れを使用できない時は、庫内の左奥に直接専用洗剤を入れてください。

付属品



専用洗剤(100g)
(計量スプーンつき)

●必ず食器洗い乾燥機用の専用洗剤を使用してください。
付属品の洗剤がなくなりましたら、お買い上げの販売店またはスーパーなどでご購入ください。

＊一般の台所用洗剤を使用されますと、泡が異常に発生し、機器が正常に作動できなくなります。

操作パネル部のなまえとはたらき

表示ランプの見かた

○ 消灯

● 点灯

☀ 点滅

電源スイッチ

押すと「入」になり、もう一度押すと「切」になります。

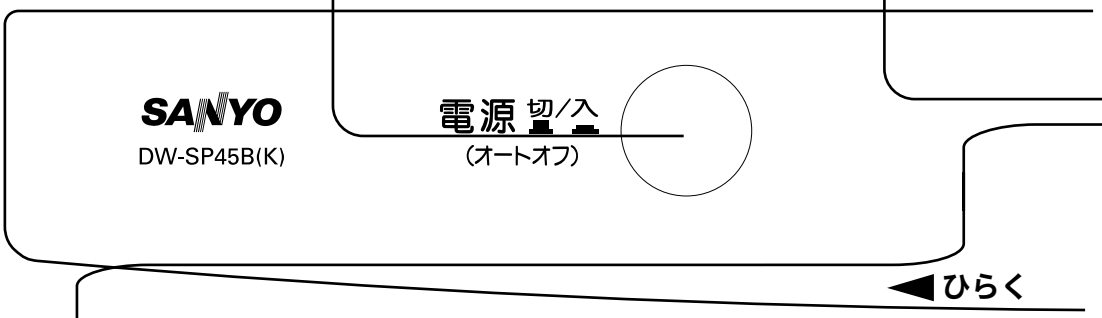
オートオフ機能

- スタートせずに放置していると10分後に「切」になります。
- 運転終了後自動的に「切」になります。（「カラッと仕上げ」を行わない場合は、運転終了後10分間、間欠送風運転を行った後に「切」になります。）

「給湯」ランプ

給湯設定の場合に、このランプが点灯します。

- 「給湯」ランプが点灯している場合は給湯設定になります。配管が給湯接続になっていることが必要です。給湯・給水設定の切り替えは 1 を参照願います。また、ランプ消灯時は、給水設定です。
- 電源プラグを抜き差ししても、給湯/給水設定をメモリーしています。



表示部

1.運転中は、残り時間の目安を表示します。
また、予約設定時間が表示されます。

- 「カラッと仕上げ」の所要時間は、残り時間に含まれていません。
- 残り時間が99分をこえるときは、2Hと表示します。
- 予約設定の場合は、スタート前予約設定時間が点滅します。スタート後運転を開始するまでの予約設定表示は、1時間ごとに（例）3H→2H→1Hが点灯します。（3Hは、3時間を表しています。）また、スタート約5秒後、節電のため表示が暗くなります。予約ボタンを押すと明るくなり約5秒後暗くなります。一時停止のときは、明るく点灯します。

2.異常が発生したとき点滅表示とブザー音でお知らせします。

ドアロック中

ドアを閉め運転をスタートするときまたは、運転中ドアを開くときにドアロック中が点灯または、点滅します。
（ドアロックの時、ドアロック解除時にカチッと音がします）

- ドアを閉め運転をスタートするとき。
ドアを閉め、開閉レバーを「とじる」の「►」の位置にし「スタート／一時停止」ボタンを押すと下記のように表示します。

☀ドアロック中 → ●ドアロック中（ドアロック完了）

- 運転中ドアを開くとき。
「スタート／一時停止」ボタンを押しドアロックを解除すると下記のように表示します。
安全のため「スタート／一時停止ボタン」を押してから数秒後にドアロックが解除します。解除中はブザーがなります。

☀ドアロック中（ドアロック解除中） → ○ドアロック中（ドアロック解除）

「コース」ボタン

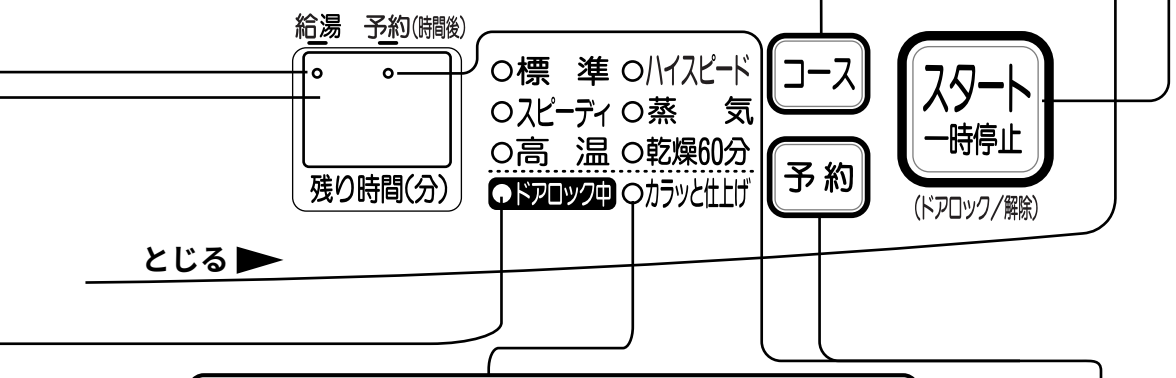
コースを選ぶときに押します。ボタンを押すごとにランプが移動します。

- 食器の汚れ具合、洗いかたに応じて選びます。
- スタート後、各コースの「乾燥60分」「カラッと仕上げ」を変更するときに押します。

「スタート/一時停止」ボタン

運転を「スタート」または「一時停止」させるときに押します。

- 一時停止させた後、再びスタートさせるときは、もう一度押してください。
- 運転中にドアを開けるときは、このボタンを押して一時停止状態にし『ドアロック中』のランプが消灯してからゆっくり開けてください。再びスタートさせるときは、ドアを閉じて開閉レバーを「とじる」の「►」の位置まで押し込んでから「スタート/一時停止」ボタンを押してください。



カラッと仕上げ

乾燥行程後の食器や庫内の結露を防ぐため、間欠送風運転を約60分行います。（ヒーターは入りません。）

- 乾燥行程終了後、自動的に行います。（間欠音がしますが、異常ではありません。）
- 「カラッと仕上げ」は取り消すこともできます。スタート後、コースボタンを押すと取り消すことができます。
- 「カラッと仕上げ」中は「スタート／一時停止」ボタンは受け付けません。開閉レバーをひらくと一時停止状態となり、開閉レバーをとじると「カラッと仕上げ」を再開します。
- 「カラッと仕上げ」中に運転を止める場合は、電源スイッチを「切」にしてください。
- 「カラッと仕上げ」中にドアを10分以上開けていると、自動的に電源スイッチが「切」になります。

「予約」ボタン・ランプ

運転を開始するまでの時間を予約するときに押します。
（予約設定は、標準コースのみ）

- 「予約」ボタンを押すと自動的に標準コースのランプと「予約」ランプが点灯します。
  押すごとに表示部に予約設定時間が下記のように表示されます。
  3H→4H→5H→6H→1H→2H
  ↖―――――――

コースの説明

下記のコースを給湯設定で運転したとき、スタート直後に約１分間の準備行程を行います。(「乾
運転時間は、給水圧0.3Mpa（3kgf/cm²）室温20℃、給湯温度60℃の場合の目安です。

準備行程について　参照

標　準 コース　食事のあとすぐ洗うとき（普通の汚れのとき）

運転時間 約54分
●カラッと仕上げは含みません。

洗い（約60℃）→ ※すすぎ2回 → 加熱すすぎ（約70℃）→ 乾燥（25分）→ カラッと仕上げ

※給湯温度が低いとすすぎが3回になります。

スピーディ コース　事前につけ置き洗いや水洗いをしたとき（軽い汚れのとき）

運転時間 約36分
●カラッと仕上げは含みません。

洗い（約52℃）→ すすぎ1回 → 加熱すすぎ（約65℃）→ 乾燥（17分）→ カラッと仕上げ

※加熱すすぎの温度が低く、乾燥時間が短いため、乾燥終了後多少水滴が残る場合があります。

高　温 コース　より衛生的に洗うとき

運転時間 約84分
●カラッと仕上げは含みません。

洗い（約60℃）→ すすぎ3回 → 加熱すすぎ（約80℃）→ 乾燥（25分）→ カラッと仕上げ

※「標準」コースより、洗いを約10分間長く行います。

蒸　気 コース　油汚れの多い調理器具や食器を洗うとき

運転時間 約87分
●カラッと仕上げは含みません。

洗い（約80℃）→ すすぎ3回 → 加熱すすぎ（約65℃）→ 乾燥（25分）→ カラッと仕上げ

※洗いの行程で蒸らし洗浄を行います。

乾燥60分 コース　手洗いした食器を乾燥するとき、食器をあたためるとき

運転時間 約60分
●カラッと仕上げは含みません。

乾燥（60分）→ カラッと仕上げ

※最初に排水を約1分間行います。その後、乾燥行程を行います。（洗い、すすぎ行程はありません。）

燥60分」コースはのぞきます。）

ハイスピードコース

洗いからすすぎまでを約11分で行う高速洗浄コースです。
トーストなど軽い汚れの洗い物に便利です。
※給湯温度が低い時は洗い時間が長くなります。

運転時間
約11分
●カラッと仕上げは含みません。

洗 い → すすぎ1回 → 加熱すすぎ

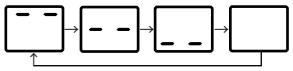
※洗い及び加熱すすぎの温度は給湯器の温度設定により異なります。

※乾燥行程はありません。（追加することはできます。）
スタート後、コースボタンで「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の設定を追加または取り消しすることができます。

※油汚れ等のしつこい汚れは､残る場合がありますので､他コースの使用をおすすめします。ただし、スポンジ等で汚れを取る、お湯にしばらくつけておく等の前処理をすればこのコースでもご利用いただけます。

※短時間で食器の洗浄を行いますので、給湯器の設定温度は60℃にしてお使いいただくことをおすすめします。設定温度が低い場合、水温が低いので仕上がりが悪くなる場合があります。

※「ハイスピード」コースで乾燥なしの場合は、運転終了後水滴が残ります。このため、運転終了後10分間は定期的に間欠で排水を行います。この間表示部が下記のように表示されます。　（図）



但し、途中でドアを開けると排水を中断します。開閉レバーを「とじる」の「►」の位置にすると再び排水します。

所要時間の目安

- 下表の所要時間は、給水圧0.3MPa（3kgf/cm²）、室温20℃、給湯温度60℃、給水温度20℃の場合の目安です。（所要時間は水圧、湯(水)温、室温、給湯(水)能力によって変わります。）
- 下表の所要時間には、「洗い」「すすぎ」ともに、給・排水行程を含みます。
- 下表の所要時間には、「カラッと仕上げ」の時間（約60分）は含みません。
- 湯(水)温が低い場合、所要時間が長くなります。

コース	給湯 給水	所要時間	所要時間の内訳						説明のページ
			準備行程	洗い	すすぎ 1	すすぎ 2	すすぎ 3	すすぎ 加熱すすぎ	乾燥	
標準	給湯	約54分	1分	10分			※	18分	25分	19〜20
	給水	約78分		20分				33分	25分	
スピーディ	給湯	約36分	1分	8分				10分	17分	19〜20
	給水	約53分		16分				20分	17分	
ハイスピード	給湯	約11分	1分	6分				4分		19〜20
高温	給湯	約84分	1分	20分				38分	25分	19〜20
	給水	約107分		30分				52分	25分	
蒸気	給湯	約87分	1分	48分				13分	25分	19〜20
	給水	約110分		58分				27分	25分	
乾燥60分	——	約60分							60分	23

「予約」設定

予約時間＋標準コースの所要時間（上表参照）
（1時間予約～6時間予約まで1時間単位で予約できます。）

給湯設定でご使用の場合予約時間により、運転終了時間が長くなります。

21〜22

※マンションや集合住宅の場合、排水温度を下げるため所要時間が上表より約10分長くなる場合があります。
※給湯設定の場合、標準コースのすすぎ2回目終了後の湯温が低いとすすぎが3回になります。
※「ハイスピード」コースは、約11分で洗浄を行うコースです。給湯でご使用されることをおすすめします。

準備行程について

- 給湯設定の場合、予約設定及び「乾燥60分」コース以外、スタート直後に準備行程を行います。
- 準備行程とは、給湯設定にした場合庫内や給湯配管内にたまった低温の水を排水し、洗浄開始から最適な給湯温度で食器の洗浄を行うために約１分間の給・排水を行います。
- 給水設定にすると、準備行程は行ないません。

➡7 「給湯」ランプ　参照
➡11 給湯設定・給水設定について　参照

給湯設定・給水設定について

- 給湯設定とは、給湯ランプが点灯し準備行程を行います。（予約設定・「乾燥60分」コース以外）
- 給水設定とは、給湯ランプが消灯し準備行程を行いません。
- 給湯・給水の設定は、電源スイッチを「入」にしコースボタンを約6秒押すと、変更することができます。もう1度約6秒押すと元の設定に戻ります。
- 電源プラグを抜き差ししても給湯設定・給水設定は記憶しています。

カラッと仕上げについて

- 「カラッと仕上げ」を設定すると所要時間は左表より約60分長くなります。

コースの記憶について

- 「標準」「高温」「スピーディ」コースを運転すると自動的にコースを記憶します。
  次回電源スイッチを「入」にすると前回使用した運転コースが表示され「スタート/一時停止」ボタンを押すだけでワンタッチスタートができます。
- 「ハイスピード」「蒸気」「乾燥60分」コース「予約」設定を運転した場合は、コースを記憶しません。

食器の入れかた

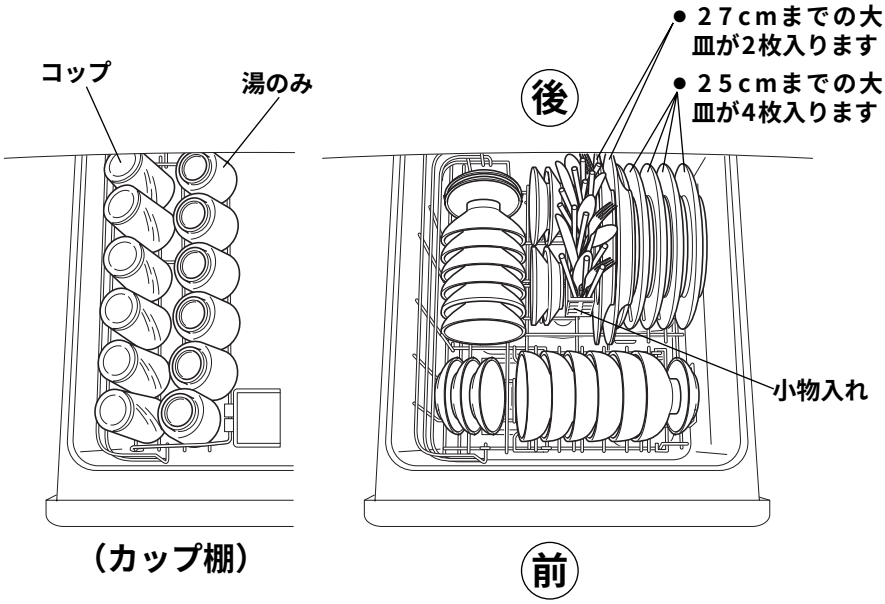
標準的な食器のセット例

６人用のセット例

〈６人用のセット例〉

茶わん …６点
吸物わん……６点
※大　皿……６点
小　皿……10点
湯のみ …６点
コップ …６点
} 計40点

小物 { は　し / スプーン / フォーク / ナイフ



※大皿は、最大約27cmが小物入れに近い方から2枚入ります。（上図参照）
※食器の形状によっては、所定の場所に入らない場合があります。

包丁・まな板の場合

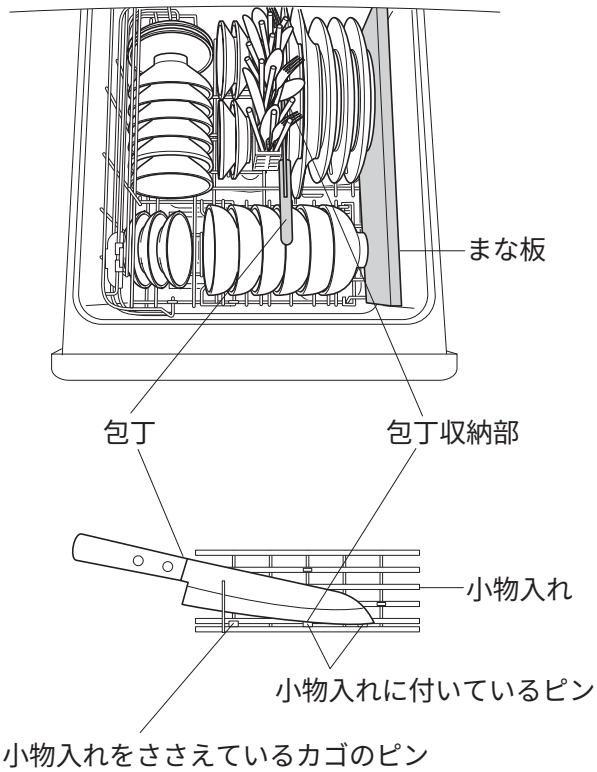
包丁の場合

- 包丁をセットするときは、カゴを傷つけないようにゆっくり入れてください。またケガ防止のために刃の部分を下向きにして入れてください。
- 鉄製の包丁はさびることがありますのでさけてください。

まな板の場合

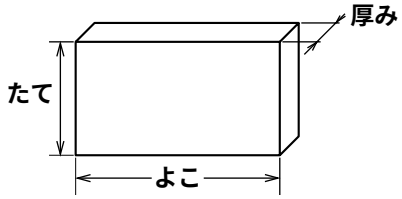
- まな板は汚れのひどい側を中央に向けてください。
- 木製まな板はキズの奥に入り込んだ汚れが洗えない場合があります。プラスチック製まな板をご使用ください。
- プラスチック製まな板は耐熱温度70℃以上のものをお使いください。
  また、乾燥後しばらくは熱により変形しやすくなっています。取り扱いには十分注意してください。

※まな板を入れた場合、セットできる食器は約38点になります。

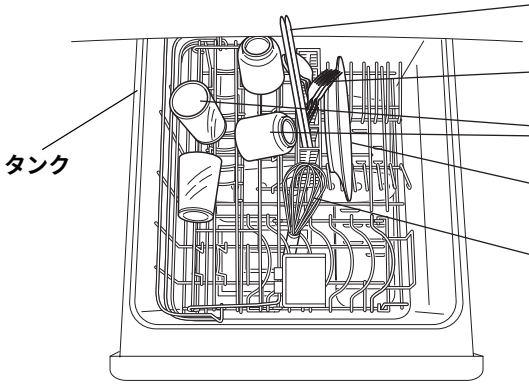


洗えるまな板の大きさ

- 厚み1.5㎝以下、たて22㎝以下、よこ39㎝以下



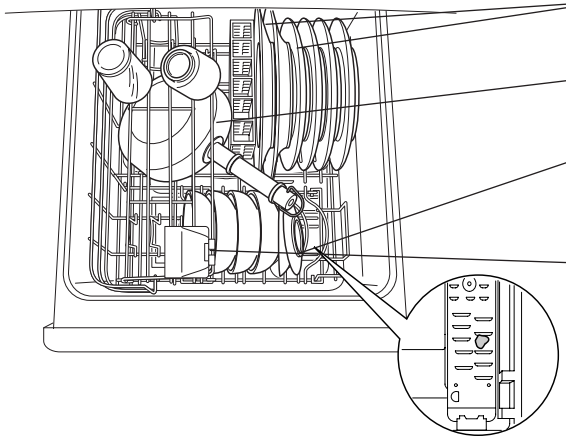
食器セットの悪い例



庫内(タンク)上面より絶対にはみ出さない様にする。

- 庫内からはみ出る食器はセットしない。
  （ドアを閉めるとき食器をこわす恐れがあります。）
- スプーン／フォークなどは重ねて入れない。
  （きれいに洗えません。）
- 横向きや上向きに食器をセットしない。
  （洗い上がりが悪くなります。）
- 外向けにセットしない。
  （洗い上がりが悪くなります。）
- カゴからはみださない。
  （ノズルに当たります。）

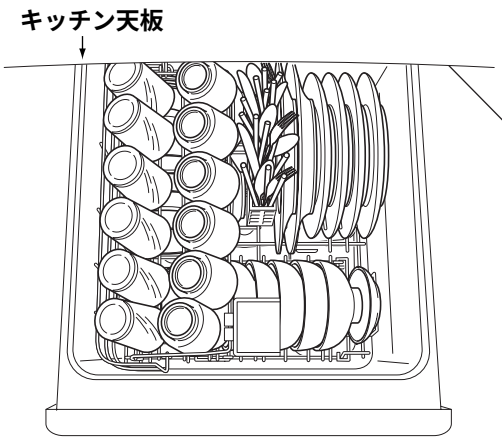
食器を入れるときのお願い



- 特に大皿は、左図（6人用セット例）のようにセット位置により入る大きさが異なりますので注意してください。
- カップ棚の下に大きい食器やなべをふせて置かないでください。（カップ棚の食器が洗えません。）
- 食器は、重ならないように入れてください。
- 食器を入れ過ぎないでください。
  （洗い上がりが悪くなります。）
- 専用洗剤は、必ず専用洗剤入れと書かれた方を上にして入れてください。

＊ヒーターカバーの上に樹脂食器が落下し、付着した場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

食器を取り出すときのお願い



- 入れるときの逆の順序でカップ棚から取り出してください。
- 皿や茶わんは一つずつ内側から取り出してください。

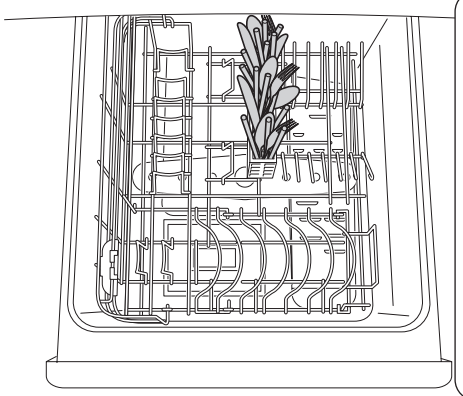
※数枚同時に取り出さないでください。
食器どうしが当たって欠けることがあります。

※奥のキッチン天板の角に当たらないように気を付けてください。

食器の入れかた（つづき）

６人用食器の入れ方（食器は内面が矢印方向に向くようにセットしてください。）

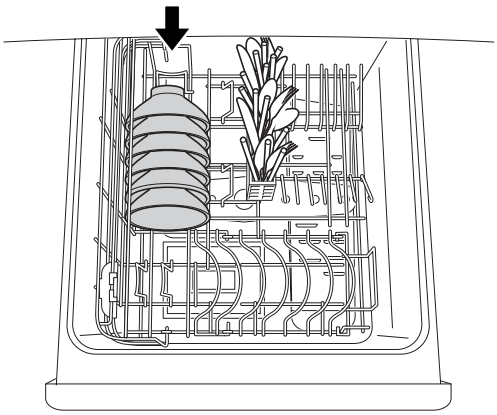
1 はしは汚れた方を下に、その他の小物は汚れた方を上にして入れる



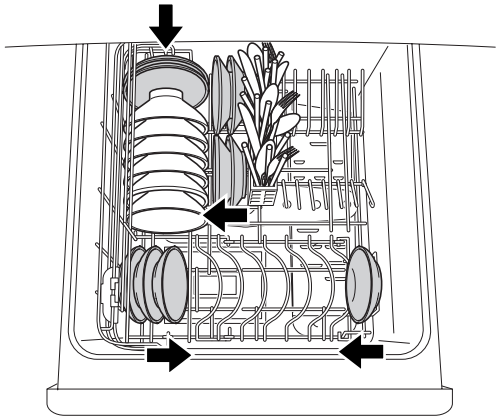
ご注意

- 小物が小物入れの横から飛び出さないように注意してください。
- プラスチック製のはしやフォーク、スプーン、バターナイフなどは特に注意してください。
  落下して、ヒーターカバーやヒーターに触れると溶けたり、臭いの原因になります。

2 カップ棚を上げて、その下に茶わんを入れる

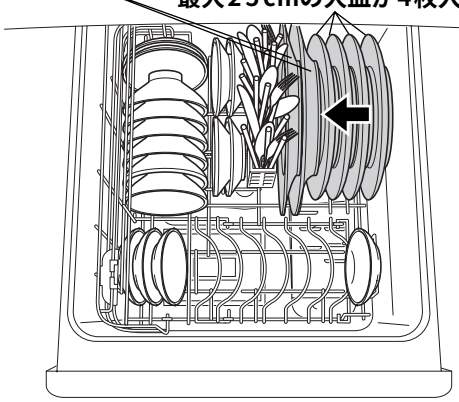


3 小皿を入れる

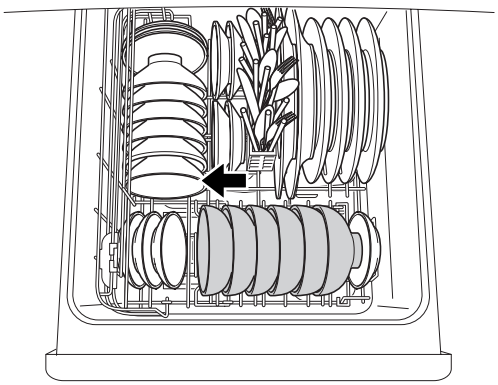


4 大皿を入れる

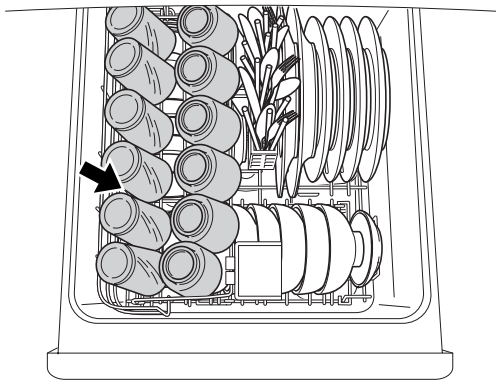
最大27cmの大皿が2枚入ります。
最大25cmの大皿が4枚入ります。



5 吸物わんを入れる

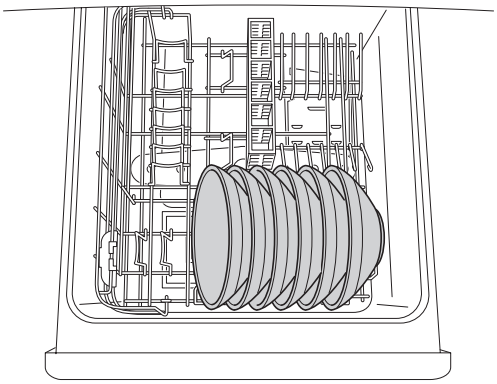


6 カップ棚をおろし専用洗剤入れを回転させてコップ、湯のみをおく

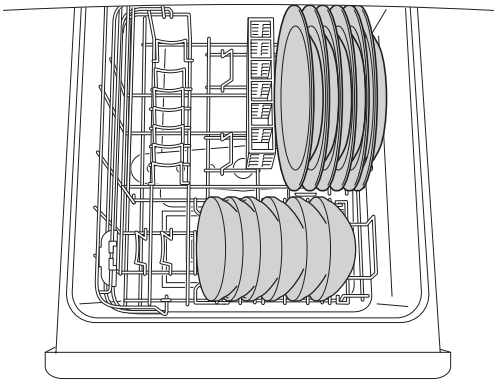


いろいろな食器のセット例

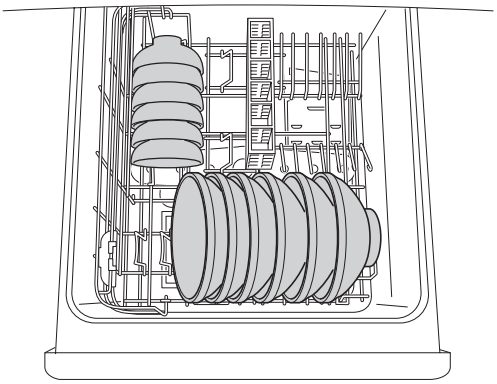
ラーメン鉢の場合



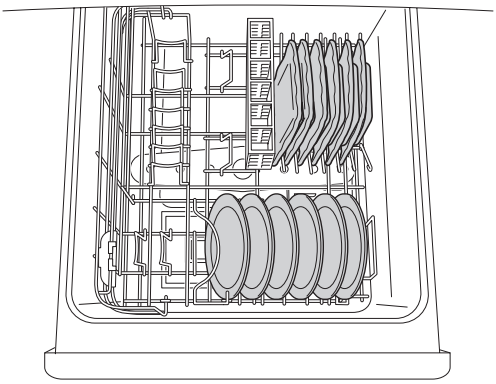
カレー皿＋サラダボウルの場合



どんぶり＋吸物わんの場合

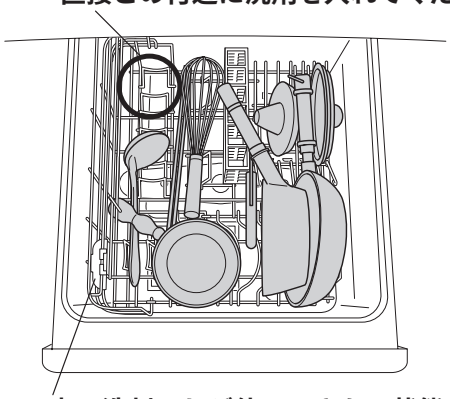


角皿＋中皿の場合



調理器具の場合

専用洗剤入れが使用できないときは、
直接この付近に洗剤を入れてください。



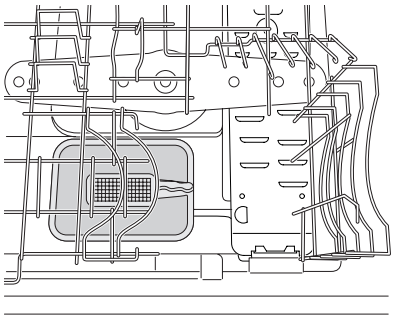
専用洗剤入れが使用できない状態

※形状や大きさによっては、所定の場所に入らない場合があります。
※無理に入れると水漏れ、破損の原因になります。
※食器セット終了後、カップ棚をおろして専用洗剤入れを回転させ洗剤を入れ運転してください。
※専用洗剤入れを使用できないときは、向かって左奥に洗剤を入れてください。
それ以外のところに入れると給湯設定の場合、洗剤が流れ出てしまい洗浄力が落ちます。

使いかた

1 残菜フィルターがセットされているか確認する

（残菜フィルターを正しくセットしないと故障の原因になります）



2 食器の残菜を取り除く

ひどい油のかたまり、ごはん粒、わかめ、かつおぶし、つまようじ、輪ゴム、などは取り除いてください。
ケチャップやトマトジュースの汚れは、あらかじめ落としておいてください。

●落ちない汚れ

こすり落としてから入れるか手洗いしてください。
手洗いでも、落としにくい汚れは、そのまま入れても洗えません。

グラタンのこげつき

茶わん蒸しなどのがんこな汚れ

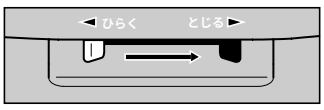
鍋の焼けこげ

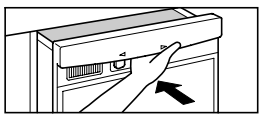
口紅の汚れ

5 ドアを確実に閉め、開閉レバーを「とじる」の「►」の位置まで押し込む

●閉め方

ドアを閉める
開閉レバーを確実に「とじる」の「►」の位置まで押し込む（下図参照）





ドアの開け閉めは、ゆっくり行ってください。
庫内の食器が転がったり、破損する恐れがあります。

コースを選択し「スタート／一時停止」ボタンを押し運転する

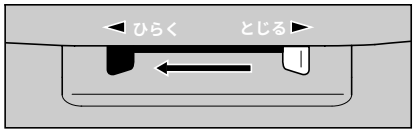
開閉レバーが「とじる」の「►」の位置に押し込めない時はドアを開け、食器が庫内よりはみ出していないか確認ください。

6 運転終了後、開閉レバーを「ひらく」の「◄」の位置にする

●開け方

開閉レバーを確実に「ひらく」の「◄」の位置にする（下図参照）
取ってを持ち、手前に引く。

※途中で開けるときは、「スタート／一時停止」ボタンを押し「ドアロック中」のランプが消えてから開閉レバーを「ひらく」の「◄」の位置にする
（ドアロックを解除するのに数秒かかります。）

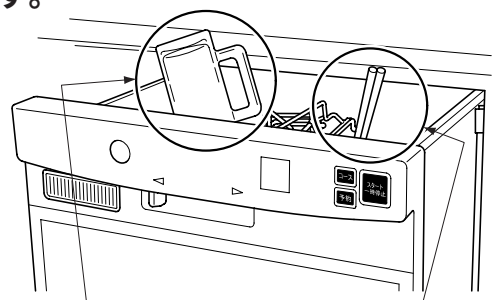


※ドアを開いた状態で開閉レバーを「とじる」の「►」の位置にしないでください。

3 食器を入れる

●洗える食器かどうか確認する
●食器類は､庫内からはみ出さないようにしてください。

ドアを閉めるときに本体に当たり、食器が割れる恐れがあります。
無理に閉めると、水もれ、破損の原因になります。

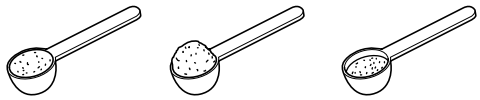


タンク上部より絶対にはみ出ないようにする。

4 専用洗剤を専用洗剤入れに入れる

参照

●標準量・・・・・付属スプーン1杯分
●油汚れが多い場合は、洗剤を多めに入れてください

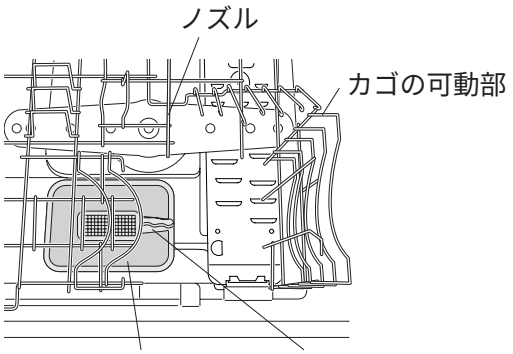


適量　多い　少ない

「乾燥60分」コースは、洗剤は不要です。

※専用洗剤以外は絶対に使用しないでください。一般台所用洗剤では、泡の異常発生で正しく作動しません。

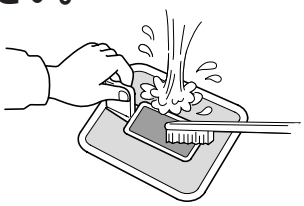
7 あとしまつ



※残菜フィルターは、毎回掃除してください。残菜がたまるため洗い上がりが悪くなったり臭の原因になります。

①残菜フィルターの上の、カゴの可動部を上げる
ノズルに当たらないように、ノズルの方向を横に向けフィルター取手を持って残菜フィルターを取り出す。

②残菜を捨て、残菜フィルターを洗う
汚れ落ちが悪い場合は、ブラシでこすり落としてください。



③残菜フィルターを元どおりセットしカゴの可動部をおろす。
※残菜フィルターを外したとき底部に残水がありますが異常ではありません。

④ドアを確実に閉め開閉レバーを「とじる」の「►」の位置にしてください。

⚠ 注意

食器の取り出し、残菜フィルターの掃除、お手入れは運転終了後30分以上経過してから行ってください。

やけどする恐れがあります。

●運転終了直後は底にあるヒーターカバーが高温のため、触るとやけどする恐れがあります。

コース別操作の手順

標　　準 コース　食後すぐに洗うとき（ふつうの汚れのとき）

スピーディ コース　事前につけ置き洗いや水洗いをしたとき（軽い汚れのとき）

高　　温 コース　より衛生的に洗うとき

蒸　　気 コース　油汚れの多い調理器具や食器を洗うとき

ハイスピード コース　洗いからすすぎまでを約１１分で行う高速洗浄コースです。トーストなど軽い汚れの洗い物に便利です。

お願い　必ず専用洗剤を使用してください。
一般台所洗剤では泡の異常発生で正しく動作しません。

準　備　※給湯で使用される場合、給湯器の電源スイッチが入っていることを確認してください。

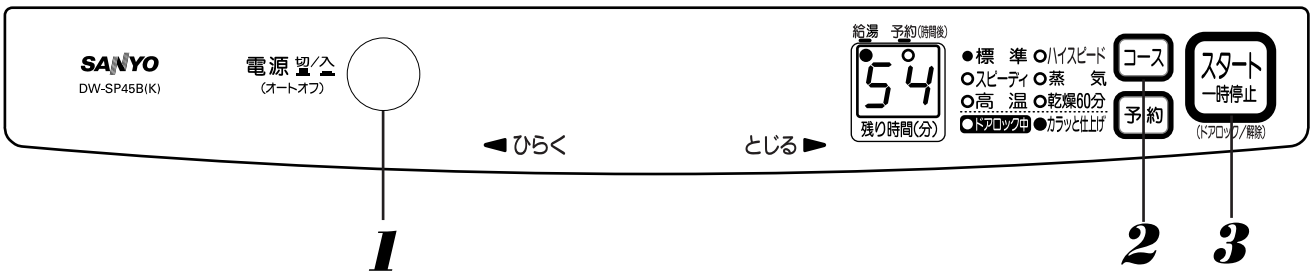
■食器をカゴにセットする

■専用洗剤入れに **専用洗剤** をスプーン約一杯分入れる
※専用洗剤入れに必ず入れてください。給湯設定にしたとき、洗剤が流れでるのを防ぎます。参照

■静かにドアを閉める。開閉レバーを「とじる」の「►」の位置まで押し込む
ドアを強く閉めると洗剤がこぼれ落ちる恐れがあります。

■スタート後の「コース」変更はできません。
■スタート後「コース」ボタンを押すと「乾燥60分」「カラッと仕上げ」の変更ができます。
乾燥運転中は、「カラッと仕上げ」のみ変更できます。
■油汚れが多い場合、「スピーディ」「ハイスピード」コースでは洗わないでください。
■油汚れが多い場合、専用洗剤をスプーン約一杯半～二杯入れてください。
■スタート後、食器を追加すると仕上がりが悪くなる場合があります。

■「標準」コースの初期設定を表示しています。
（給湯設定の場合）



1 ○ 電源を押す

2 コース を押しコースを選ぶ

各コースが表示されます。
お好みのコースを選んでください。

残り時間(分) OP

OP表示が出たらもう一度開閉レバーを閉め直してください。
開閉レバーを確実に「とじる」の「►」の位置まで押し込んでください。

3 スタート 一時停止 「スタート／一時停止」ボタンを押す

表示部の残り時間が点滅し運転を開始します。

スタート後、コースボタンを押すと「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更ができます。

ブザーが3回鳴ったら運転終了

その後「カラッと仕上げ」に入ります。

「カラッと仕上げ」ランプのみ点灯します。
終了後はブザーは鳴らず、電源が「切」になります。

初期設定は、「カラッと仕上げ」ありになっています。

4 あとしまつ

フィルターの掃除をする
フィルターを取り出す時、ノズルに当らないように、ノズルの方向を横に向けてください。
（運転終了後、約30分たって庫内が冷えてから行ってください。）
フィルターをもとの位置に戻し、カップ棚をおろし本体を押し込み開閉レバーを「とじる」の「►」の位置まで押し込んでください。
7あとしまつ 参照

お願い 運転中ドアを開くときは、必ず「スタート／一時停止」ボタンを押し、
ドアロック中のランプが消灯してから開閉レバーを「ひらく」の「◄」の位置にしてください

コース別操作の手順（つづき）

予　約　夜の団らんタイムをさけて運転したいとき

（標準コースのみ）

お願い　必ず専用洗剤を使用してください。
一般台所洗剤では泡の異常発生で正しく動作しません。

準　備

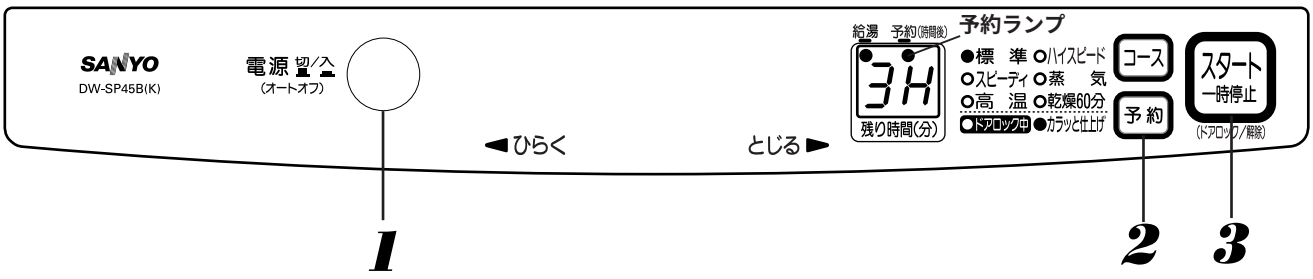
■食器をカゴにセットする
■専用洗剤入れに **専用洗剤** をスプーン約一杯分入れる
■静かにドアを閉める。開閉レバーを「とじる」の「►」の位置まで押し込む
ドアを強く閉めると洗剤がこぼれ落ちる恐れがあります。

■「予約」について
- 予約設定後、食器をぬらすため、ノズルが回る音がしますが、異常ではありません。
- 「予約」スタート後、残り時間表示部が1時間ごとに下記表示になります。

（例）4時間予約設定したとき
4H → 3H → 2H → 1H （予約設定後、節電の為表示が暗くなるように設定されています。「予約」ボタンを押すと明るくなり、またすぐ暗くなります。）

■スタート後の「コース」変更はできません。
■スタート後「コース」ボタンを押すと「乾燥60分」「カラッと仕上げ」の変更ができます。
乾燥運転中は、「カラッと仕上げ」のみ変更できます。
■スタート後、食器を追加すると仕上がりが悪くなる場合があります。

■「予約」の初期設定を表示しています。



1 電源を押す

2 予 約 を押す

「標準」コースが点灯し、表示部に3Hが表示されます。
予約ランプが点灯しているか確認してください。

残り時間(分) OP
OP表示が出たらもう一度開閉レバーを閉め直してください。
開閉レバーを確実に「とじる」の「►」の位置まで押し込んでください。

予約時間を変更する場合

予 約 を押すごとに表示部に設定時間が表示されます
（1時間～6時間まで1時間ごとに設定できます）

表示部は、予約を押すごとに下記のように表示されます。
3H→4H→5H→6H→1H→2H

3 スタート 一時停止 「スタート／一時停止」ボタンを押す

表示部の残り時間が点滅し運転を開始します。

スタート後、コースボタンを押すと「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更ができます。

ブザーが3回鳴ったら運転終了

その後「カラッと仕上げ」に入ります。

「カラッと仕上げ」ランプのみ点灯します。
終了後はブザーは鳴らず、電源が「切」になります。

初期設定は、「カラッと仕上げ」ありになっています。

4 あとしまつ

フィルターの掃除をする
フィルターを取り出す時、ノズルに当らないように、ノズルの方向を横に向けてください。
（運転終了後、約30分たって庫内が冷えてから行ってください。）
フィルターをもとの位置に戻し、カップ棚をおろし本体を押し込み開閉レバーを「とじる」の「►」の位置まで押し込んでください。
7あとしまつ 参照

お願い 運転中ドアを開くときは、必ず「スタート／一時停止」ボタンを押し、
ドアロック中のランプが消灯してから開閉レバーを「ひらく」の「◄」の位置にしてください

コース別操作の手順（つづき）

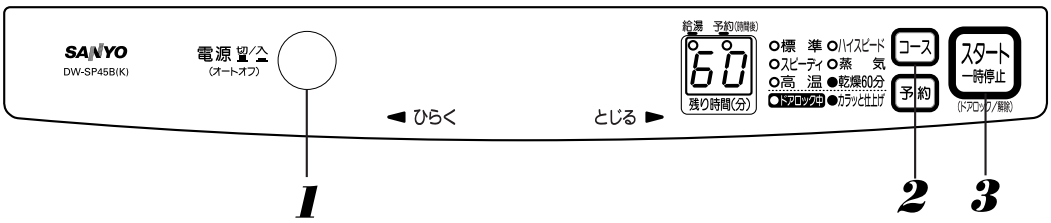
乾燥60分コース　手洗いした食器を乾燥するとき 食器をあたためるとき

準　備

■食器をカゴにセットする
■静かにドアを閉める
開閉レバーを「とじる」の「►」の位置にする

■「乾燥60分」コースは、洗剤を入れないでください。
■スタート後のコース変更はできません。
■乾燥運転中は、カラッと仕上げのみ変更できます。
■スタート後に食器を追加すると仕上がりが悪くなる場合があります。

■「乾燥60分」「カラッと仕上げ」ありを表示しています。



1 ○ 電源を押す

2 コース を押し「乾燥60分」コースを選ぶ

（「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」ランプが点灯します）

残り時間(分) OP
OP表示が出たらもう一度開閉レバーを閉め直してください。
開閉レバーを確実に「とじる」の「►」の位置まで押し込んでください。

3 スタート 一時停止 「スタート／一時停止」ボタンを押す

表示部の残り時間が点滅し運転を開始します。

スタート後、コースボタンを押すと「カラッと仕上げ」の取り消しができます。

ブザーが3回鳴ったら運転終了

その後「カラッと仕上げ」に入ります。

「カラッと仕上げ」ランプのみ点灯します。
終了後はブザーは鳴らず、電源が「切」になります。

初期設定は、「カラッと仕上げ」ありになっています。

お願い 運転中ドアを開くときは、必ず「スタート／一時停止」ボタンを押し、ドアロック中のランプが消灯してから開閉レバーを「ひらく」の「◄」の位置にしてください

いろいろな運転のしかた

終了ブザー音を消したい場合

（電源スイッチを「切」にしても記憶しています）

●電源スイッチを「入」の状態で「スタート/一時停止」ボタンを４秒間押し続けると、受付完了のブザー音が「ピー」と鳴り、終了ブザー音が鳴らない状態になります。
（スタート前及び運転中いつでも受け付けます。ただし、運転中に行うと一時停止状態になりますので、その際は「スタート/一時停止」ボタンを押し、再スタートしてください。）

●再び終了ブザー音を鳴る状態にするには、同じ操作を行ってください。受付完了のブザーが「ピッ」と鳴り、終了ブザー音が鳴る状態になります。

※ブレーカーを切ったり、停電及び電源プラグを抜くと終了ブザーが鳴る設定になります。

排水について

●排水のみを行いたいときは、「コース」ボタンで「乾燥60分」を選んで運転してください。
スタート後、約１分で排水は完了しますので、必ず電源スイッチを「切」にしてください。
電源スイッチを切り忘れた場合は、続けて残り時間の乾燥運転を行います。

乾燥60分について

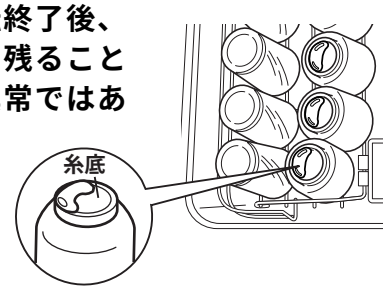
●冬場など、食器が乾きにくい場合は、「乾燥60分」を設定してください。
「コース」ボタン　参照

●「乾燥60分」を設定すると、所要時間は左表より、「標準」「高温」「蒸気」コースで約35分、「スピーディ」コースで約43分「ハイスピード」コースで約60分長くなります。

仕上がりが悪いと思われる場合

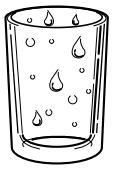
食器の糸底部に水が残る場合

- 食器の形状やセットのしかたによっては運転終了後、糸底部に水が少し残ることがありますが、異常ではありません。



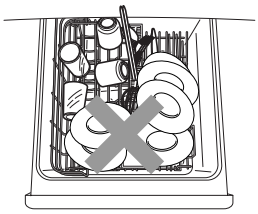
ガラス食器に薄い水滴のあとが残る場合

- 水に含まれているミネラル分のためで、洗剤やすすぎ不足によるものではありません。
- 水質硬度の高い地域では洗剤を多め（スプーン一杯半～二杯）に入れてください。



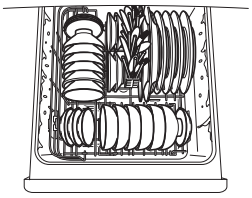
洗えていないものがある場合

- 食器や小物が重なりすぎていませんか。
- 小物や食器の一部がカゴからはみだして、ノズルの回転を止めていませんか。



庫内に水滴が残る場合

- 運転終了後に庫内に水滴が残ることがあります。これは庫内の結露現象によるもので、異常ではありません。
- 「カラッと仕上げ」を使用すると、結露現象による水滴の付着が防げます。



食器が黄色く、または薄黒くなっている場合

- 水に含まれている鉄分や茶しぶなどのためです。
  ときどきは食器をこすって洗ってください。

ガラス食器類が白くくもる場合

- 表面に小さな傷のついたガラス食器類を高温の洗浄水で洗うと、浸食が進み白くくもることがあります。
- 洗浄温度の低い「スピーディ」コースの使用をおすすめします。

その他仕上がりが悪い場合

- 食器の汚れた面が上向きになっていませんか
- 食器のこげつきや、こびりついた汚れは前もってよく落としてから入れましたか。
- むりな入れ方をしていませんか。
- コースの選択は適切でしたか。
- フィルターを正しくセットしていますか。
- 洗剤を入れ忘れていませんか。
- 専用洗剤以外の洗剤を使用していませんか。
- フィルターが目づまりしていませんか。

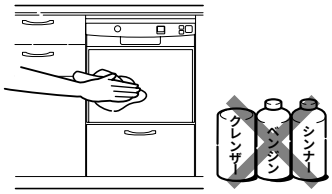
お手入れ

庫内が冷えてから行ってください。運転終了直後は底にあるヒーター及びヒーターカバーが高温のため、触れるとやけどをする恐れがあります。

本　体　の　お　手　入　れ

本体表面は、ぬれたやわらかい布で汚れをふいてください。

- 汚れがひどいときは、台所用洗剤をしみ込ませてふいてください。
- ベンジン、シンナー、クレンザーなどの使用はやめてください。（塗装面やプラスチック部を傷めます。）
- 排気口にゴミがつまったときは、掃除機などで掃除してください。



ドアやタンクの内面は、やわらかい布でていねいにふいてください。

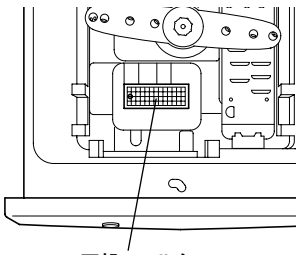
- においや庫内の汚れが気になるときは、専用洗剤を使用し、食器を入れずに「ハイスピード」コースで運転してください。

下部フィルターのお手入れ

再汚染防止のために二重フィルター構造を採用しています。

- 下部フィルターが目づまりした場合には、カゴのカップ棚をおろしカゴを取り出し、残菜フィルターを取り出してからネジをプラスドライバーではずし、下部フィルターを取り出して、たまった残菜をきれいに取り除いてください。
- 異物がつまったままの状態ですと、ノズルからの水の出が悪くなり、洗えない場合があります。
- 下部フィルターをはずしたとき、底部に残水がありますが異常ではありません。

※下部フィルターを取り付けるとき、ネジを締めすぎないようにしてください。

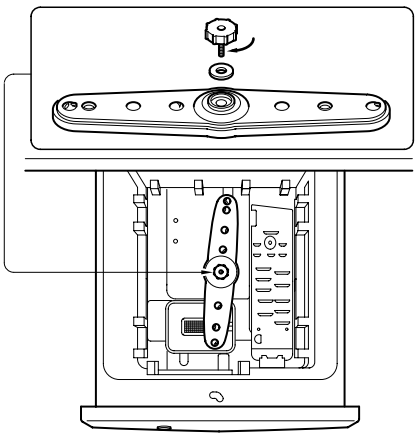


ノ　ズ　ル　の　お　手　入　れ

本機はノズルからの噴射水によって食器を洗う方法を採用しています。
ノズルの穴が異物や汚れでつまった場合は、つぎの手順でお手入れしてください。

①中央のネジを左に回してはずし、ネジ・ワッシャー・ノズルを取り出します。
②ノズルの裏側から水を勢いよく入れ、水洗いして異物をきれいに落としてください。
（水洗いでどうしてもとれない場合は、つまようじ等でつまったものをとり、再び水洗いしてください。）
③取りはずした部品は、もとの位置に正しくセットしてください。

※取り付け後、ノズルが手で軽く回ることを確認してください。
お手入れしても、洗い上がりが悪い場合は、修理を依頼してください。



ヒ　ー　タ　ー　カ　バ　ー　の　お　手　入　れ

- ヒーターカバーにゴミが付着した場合は取り除いてください。（ただし運転終了後30分以降に行ってください。）
- ヒーターカバーのお手入れのとき、ヒーター及びヒーターカバーを変形させないでください。（変形させるとノズルにあたりノズルが回転しなくなる原因になります。）

長　期　間　使　用　し　な　い　場　合

- カゴから食器を取り出してください。
- 残菜フィルター及び下部フィルターの上にたまった残菜をきれいに取り除いてください。
- 次にお使いになるときは、専用洗剤を使用し、食器を入れずに「ハイスピード」コースで運転してからお使いください。
- 安全のため開閉レバーは、「とじる」の「►」の位置に押し込んでください。

※寒冷地の別荘などで冬期ご使用にならない場合、お買い上げの販売店にご相談ください。
（水抜きが必要です。水抜きしないと凍結により、配管や給湯通路部品などの破損の原因になります。
凍結の恐れのある場所（室温0℃以下）へは設置はしないでください。）

凍結・断水・運転中に停電やブレーカーが落ちたとき

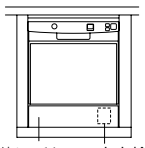
凍　結	①電源スイッチを「入」にします。「乾燥60分」コースを運転し、終了させる。 ②解凍後、電源スイッチを「入」にし、「ハイスピード」コースで運転できることを確認してください。 ※長期間ご使用されずに凍結した場合、解凍時間に時間がかかることがあります。
停　電	①各コース運転中に停電した場合、ドアロックがかかっておりドアが開きません。停電が回復するまでドアを開けないでください。(但し、カラッと仕上げ中は除く) ②停電が回復したら、電源スイッチが「入」になっていると、自動的にドアロックを解除します。「切」になっている時は電源スイッチを「入」にしてください。 ③はじめから操作をやり直してください。
断　水	①電源スイッチを「切」にします。 ②断水が回復してから使用する場合は、まず他の蛇口からにごった水を流してから運転を開始してください。
ブレーカーが落ちたとき	①原因を解決したのち、ブレーカーを復帰させる。 ②電源スイッチを「入」にし、はじめから操作をやり直してください。 ※ドアロックの状態は停電の時と同じです。

こんなときは故障ではありません

状　況	理　由
電源を「入」にし、「スタート／一時停止」ボタンを押すとすぐに排水をはじめる	本機が正常に運転するように庫内に残った水を排水する動作です。この排水動作は、以下のことが起こった後、再び運転するときに行われます。 ●停電やブレーカーの作動後。 ●異常の検出や電源「切」による中断後。 ●電源プラグを抜き差しした後。
「乾燥60分」コース以外のコースがスタートすると給湯(水)したあと、すぐに排水をはじめる	●給湯設定(給湯接続)の場合洗浄開始から、最適な給湯温度で食器の洗浄を行うために、給湯配管内にたまった低温の水を排水します。 準備行程について・給湯設定・給水設定について　参照 「給湯」ランプ　参照
洗浄時間が長い	●給水接続の場合は、所要時間が長くなります。 ●給湯温度が低くありませんか？ 給湯器の電源、温度設定を確認してください。 ●給湯設定を取り消していませんか？ 「給湯」ランプ　参照 準備行程について・給湯設定・給水設定について　参照
運転中に電源スイッチを切った為ドアが開かない	●ドアロックが解除されていません。 電源スイッチを「入」にしてください。

こんな表示がでたら ➡内の数字は説明のあるページです。

●表示部の点滅とブザー音でお知らせします。（ブザーは５分間隔で鳴ります。）
下表の点検・処置を行なってください。

表示部	症状	点検・処置のしかた
「表示なし」	●全く運転しない	●電源スイッチを入れましたか。 ●電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●停電していませんか。 ➡2 停電したとき 参照 ●上記点検・処置の後、最初から操作をやり直してください。
	●電源スイッチが「切」の状態で排水ポンプが動作している	●修理が必要です。 電源スイッチが「切」の状態であっても給水異常を検知した場合は、水漏れを防ぐため自動的に排水ポンプが動作します。 必ず止水栓を閉じ、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
E1	●水が入らない	●止水栓を開いていますか。（初めてご使用の場合、止水栓の開け忘れの可能性があります設置された販売店にご連絡ください。） ●断水していませんか。 ➡2 断水したとき 参照 ●水道が凍結していませんか。 ➡2 凍結したとき 参照
	●ドアを開けても水が出つづけている	●給水が止まらない場合。 必ず止水栓を閉じお買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
E2	●排水されない	●フィルターに残菜がたまって、目づまりしていませんか。 ➡1 7あとしまつ 参照 ●排水ホースが折れ曲がったりつまったりしていませんか。 （初めてご使用の場合、排水ホースの接続方法に不具合がある可能性があります。設置された販売店にご連絡ください。） ●上記点検・処置の後、最初から操作をやり直してください。
E3	●異常に水位が高くなり排水運転を行った。	●一般台所用洗剤を使用し、泡が異常に発生していませんか。 ➡2 U3表示 参照 ●上記内容でない場合は修理が必要です。 表示内容を確認して必ず止水栓を閉じ、お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
E7	●運転中に水位が下がる	●給水圧が異常に低くありませんか。 ●食器類が上向きにセットされていませんか。 ●上記点検・処置の後、最初から操作をやり直してください。
E9	●本体から水漏れしている	●止水栓か水道の元栓を閉じてください。 ●止水栓は本機の下の収納キャビネットにあります。（収納キャビネットの引き出しを外して止水栓を閉めてください。） ●点検口がある場合は、点検口を開けて止水栓を閉めてください。 収納キャビネットの引き出しを外して止水栓を閉めてください。 至急お買い上げの販売店に修理依頼をしてください。  収納キャビネット 止水栓
E4.E5 E6.E8	上記以外の症状	●修理が必要です。 表示内容を確認して電源スイッチを「切」にしブレーカーを落として、お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。

こんな表示がでたら ➡内の数字は説明のあるページです。

●表示部の点滅及び点灯でお知らせします。（ブザー音でお知らせします。）

表示部	症状	点検・処置のしかた
OP	●電源スイッチを入れ、いずれかの操作ボタンを押したときブザー音が4回鳴る	●開閉レバーが閉まっていません。 開閉レバーを確実に閉めてください。 （開閉レバーを「とじる」の「►」の位置まで押し込む。）
	●開閉レバーを確実に「とじる」の「►」の位置にせずにスタートさせたとき	●開閉レバーを確実に「とじる」の「►」の位置にしましたか。 ●「スタート/一時停止」ボタンを押しOP表示を解除し、開閉レバーを確実に「とじる」の「►」の位置まで押し込んでください。その後「スタート/一時停止」ボタンを押すと、OPが出た前の状態から運転を再開します。それでも、OP解除できない場合、電源スイッチを「切」にし、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
	●「スタート/一時停止」ボタンを押しドアロックを解除するとき、ドアロック中のランプが消灯になる前に開閉レバーを開けようとしたとき	●「スタート/一時停止」ボタンを押しドアロック中のランプが消灯しましたか。開閉レバーを確実に「とじる」の「►」の位置にしてからもう一度「スタート/一時停止」ボタンを押しドアロック中のランプが消灯してから開閉レバーを「ひらく」の「◄」の位置にしてください。 それでも、OP解除ができない場合、電源スイッチを「切」にし、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
U1	●ドアロック中に開閉レバーを開けようとしたとき	●「スタート/一時停止」ボタンを押しドアロックを解除しましたか。 ●「スタート/一時停止」ボタンを押しドアロック中のランプが消灯しましたか。 開閉レバーを確実に「とじる」の「►」の位置まで押し込んでからもう一度「スタート/一時停止」ボタンを押しドアロック中のランプが消灯してから開閉レバーを「ひらく」の「◄」の位置にしてください。
U3	●庫内に泡が異常に発生し、排水運転を行った U3 表示をし、庫内の泡を洗い流すための動作を約40分行います	●専用洗剤以外をご使用されていませんか。 ➡ お願い 参照 ●一般の台所用洗剤で手洗いされたときは食器に付いた洗剤を十分に洗い流されましたか。 ➡ 落ちない汚れ 参照 ●上記にあてはまる場合は、庫内の泡を洗い流すために、 U3 表示をし、給・排水を行います。動作後、電源が自動的に「切」になります。 ●電源スイッチを「切」にし、最初から操作をやり直してください。
6H 5H 4H 3H 2H 1H	●「予約」設定をスタートさせた後、左記表示が出た （ブザー音は、鳴りません）	●「予約」設定の運転を開始するまでの時間を左記表示で表しています。4時間後スタートの予約をした場合 4H……残り4時間 3H……残り3時間 ←1時間ごとに表しています。 2H……残り2時間 1H……残り1時間 ➡「予約」ボタン 参照
「数字の点灯」 （予約の場合は点滅）	●全く運転しない （ブザー音は、鳴りません）	●「スタート／一時停止」ボタンを押しましたか。 ●「スタート／一時停止」ボタンを押してください。

●修理が必要な項目以外でも点検・処置をして症状が改善されない場合は、必ず止水栓を閉じ、ブレーカーを落とし、お買い上げの販売店にご相談ください。
（この時、表示部の表示内容を記録して販売店に説明してください。また、点検修理の際は、製造番号が必要になる場合があります。製造番号は、タンク底面の銘板に表示してあります。） ➡ 庫内 参照

●ご家庭での修理は危険ですからやめてください。

別売品

お求めの際は、お買い上げの販売店またはもよりの お客さまご相談窓口 に連絡ください。

専用洗剤　●必ず食器洗い乾燥機専用洗剤をご使用ください。

専用洗剤

●デンプンやタンパクに強い酵素配合
●茶しぶやガンコな汚れにも強い。

ハイウォッシュA
N-HS80A(800g入)
(商品番号　617 248 4075)

アフターサービスについて

※お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすると危険です。絶対にしないでください。

保証書について

1 この食器洗い乾燥機には保証書がついています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をよくお確めのうえ、大切に保存してください。

2 食器洗い乾燥機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後６年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

3 保証期間は、お買い上げの日から１年です。
くわしくは保証書をご覧ください。

4 保証期間中の修理など、アフターサービスについておわかりにならない場合は、お買い上げの販売店、またはもよりのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

5 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご希望により有料で修理させていただきます。

外国での保証は

●この商品を使用できるのは、日本国内のみで、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
●This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

愛情点検　長年ご使用の食器洗い乾燥機の点検を!

このような症状はありませんか	●水もれがする。 ●こげくさい臭いがしたり、運転中に異常な音や振動がする。 ●食器洗い乾燥機にさわるとビリビリ電気を感じる。 ●据え付けが傾いたりグラグラしている。 ●その他の異常や故障がある。	▶	このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

総合相談窓口

相談受付時間　月曜日～金曜日(祭日及び当社の休日を除く) 9：00～12：00, 13：00～17：00

家電製品についての全般的なご相談は、もよりの下記電話番号にお問い合わせください。

◆北海道地区	☎札幌 (011)290－1522	◆東北地区	☎仙台　(022)714－6137
◆関東地区	☎東京 (03)3815－1111	◆中部・北陸地区	☎名古屋 (052)533－5245
◆近畿・四国地区	☎大阪 (06)6994－9570	◆中国地区	☎広島　(082)544－6036
◆九州・沖縄地区	☎福岡 (092)263－7629		

郵便・FAXでご相談される場合は

東京お客さまセンター　FAX 東京 (03)5803－3699　〒113－8434　東京都文京区本郷3－10－15
大阪お客さまセンター　FAX 大阪 (06)6994－9510　〒570－8677　大阪府守口市京阪本通2－5－5

修理や部品に関するご相談は、お買い上げの販売店、または別紙の修理相談窓口にお問い合わせください。

仕　様

仕様は、商品改良のため予告なく変更することがあります。

電源電圧	交流100V	水道水圧	0.03 ～ 1MPa（0.3 ～ 10kgf/cm²）
周波数	50／60Hz共通	洗浄方式	回転ノズル方式
定格電流	11.6／12.0A（50／60Hz）	すすぎ方式	ためすすぎ
消費電力	洗浄モーター　155／195W(50／60Hz) ヒーター　1000W 最大消費電力　1155／1195W(50／60Hz)	乾燥方式	強制排気乾燥方式 （ヒーター間欠通電とファンによる送風）
外形寸法	(幅)448mm×(奥行)636mm×(高さ)450mm	標準食器容量	食器点数　40点 （まな板をセットした場合38点）
製品質量	23kg		

電源プラグを差し込んだ状態では、電源「切」の場合でも電子回路を動作させるため、約１Wの電力を消費しています。

三洋電機株式会社

事業開発本部・住設システム事業部　〒570-8677
大阪府守口市京阪本通２丁目5番5号　電話 06(6994)6563（直通）

ホーム・アプライアンスカンパニー　電化事業部　〒520-2198
滋賀県大津市瀬田１丁目１番１号　電話 077(543)5601